

平成21年11月

臼田地区住民各位

佐久市長 柳田 清二  
長野県厚生農業協同組合連合会  
代表理事理事長 盛岡 正博  
佐久総合病院院長 夏川 周介

### 厚生連佐久総合病院再構築に係る住民説明会について

臼田地区住民の皆様におかれましては、過日開催いたしました「佐久総合病院再構築に関する臼田地区住民説明会」に、4会場延べ370名の皆様にお集まりいただき、深く感謝を申し上げます。

説明会に参加いただいた皆様からの様々なお発言を拝聴し、臼田地区住民の皆様の佐久総合病院に対する思いの深さを改めて実感したところであります。

皆様からいただきましたご質問、ご要望等につきまして、内容ごとに集約させていただいたうえで、長野県、佐久市、厚生連・佐久総合病院それぞれに内部の検討を重ね、別添「臼田地区住民説明会において出された質問・要望に対する回答」としてまとめさせていただきました。

この「回答」を臼田地区のすべての皆様にご覧になっていただき、「佐久総合病院再構築」に対する皆様の不安を解消するとともに、地域医療を守るために進められているこの再構築の計画に対し、皆様からご理解がいただければと考えております。

なお、佐久市と厚生連は、平成21年9月15日に、「長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院再構築に関する覚書」を締結いたしました。これは、臼田地区住民の皆様の不安を少しでも取り除けるよう、佐久市と厚生連双方の役割と責務を明確にし、臼田に残る地域医療センター（仮称）の開設についても目標年度を明示した内容となっています。

今後は、佐久市が設立を計画している「臼田まちづくり協議会（仮称）」に佐久総合病院も協力する中で、住民の皆様と協働して臼田のまちづくりを進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

※この「回答書」の配布につきましては、11月5日の「臼田地区の44区長様への説明会」の席においてご承諾を頂いておりますので、申し添えます。

なお、7月の住民説明会の際に皆様にご提示した「長野県厚生連 佐久総合病院再構築計画（案）」は、7月の住民説明会以降、住民の皆様からのご要望を踏まえ、市と病院で協議を重ね変更・修正をしております。この比較のための「平成21年7月説明会時」のものと、変更を加えた「平成21年11月説明会時」の双方を添付してございますので、ご覧ください。

臼田地区住民説明会において出された質問・要望に対する回答

1	質問	佐久総合病院は佐久の医療圏にとどまらず、東信地域全体の医療についても実質的に中核的な存在である。その意味で、県においても医師確保を始めとした医療体制の適正配置に努力して欲しい。
	回答県	佐久総合病院が担っている重要な機能を考えると、再構築は佐久医療圏のみならず、東信、ひいては県下全域の医療の向上につながるものであると、認識しております。今後、県としては、第5次長野県保健医療計画を推進し、地域医療の向上を図るとともに、再構築に伴う地域医療連携の検討のため、佐久市が設置する懇話会(仮称)への参画を通じ、必要な医療体制の実現への支援を行なってまいります。
2	質問	佐久総合病院の再構築に係る予算とスケジュールはどのようになっているのか。
	回答病院	基幹医療センターは土地取得費用を除き約160億円で試算をしております。地域医療センターは50～60億円で試算をしております。スケジュールとしては、基幹医療センターについては基本計画、基本設計、実施設計等で2年近くかかり、それから起工して完成までに約2年と、全体で早くても約4年近くかかります。その後、地域医療センターの整備に入りますので、出来上がるのに7～8年。二つのセンターが完成した時の医療情勢の変化に対応しての追加整備等を含めると、全体で10年の計画になります。
3	質問	人間ドッグは、臼田の地域医療センターで続けて欲しい。
	回答病院	7月住民説明会においては、現在検討中である旨を申し上げましたが、市からの要請もありましたので、厚生連健康管理センターと地域医療センターとの機能連携、住民の皆様への配慮、既存施設の有効利用により、一泊二日ドッグは地域医療センターで行うこととしました。日帰りドッグにつきましては、両センターで行うことにしました。受け入れ人数や運用方法の詳細については、現在も検討を行っております。
4	質問	旧南佐久郡には小児科と産科がなくなってしまう。この地域は今後どうしたら良いか不安である。小児科と産科は、臼田の地域医療センターに残して欲しい。
	回答病院	小児科と産婦人科に関しては、全国的な医師不足の影響が佐久の地でもあります。基幹医療センターのできる4年後も残念ながら非常に厳しい事が推測されます。このため、人材を基幹医療センターに集約させ、小児・周産期の重症者を救える体制をとりたいと考えております。特に最近では4～5人に1人が帝王切開というような状況であり、未熟児の対応等もあり、麻酔科医、産婦人科医、小児科医などチーム医療で対応する必要があるため、地域医療センターに小児科の専門医を常駐させることは難しい状況ですが、通常の診療においては、内科系医師で行う予定です。また、非常勤として専門医を配置するなどの体制づくりを考えております。いずれにいたしましても、小児科も産婦人科も医師の確保を進める中で地域医療センターでも診療が可能になるよう努力する所存です。
5	質問	小児・周産期センターの集約において、病院の先生方と子育て世代のお母さん方等を中心に話し合える機会を作って欲しい。
	回答病院	ご提案をしっかりと受け止めました。子育て世代のお母さん方と話し合いができる機会をつくってまいりたいと考えております。
6	質問	再構築により、地域医療センターと基幹医療センターに分割されるが、現在も待ち時間が長く、診療時間が短いなどの問題が解決されない中で、機能分割することにより、医師不足が解消され、待ち時間も解消されることとなるのか。
	回答病院	待ち時間等を含め、患者様にご迷惑をお掛けしております。今まで佐久病院は何でも受け入れるという形で行ってきました。いつでもどこでも安心して暮らせる体制づくりです。医療供給体制崩壊の中では患者集中が起き、医療サービスの低下や、医師の疲弊状況を生み、質と安全が危惧される状況です。提案の再構築では他の医療機関との連携、ネットワークを構築することにより東信地域全体が安心できる地域にしていくことが目的であり、こうして診療の機能を分けることにより、医療者のストレスが軽減され、サービスの向上や、待ち時間の解消、更には医師の離職防止にもつながるものと考えております。
7	質問	基幹医療センターは原則として紹介患者を診ると説明されているが、住民の心理としては大きな病院で受診したいとの思いがあり、結局、基幹医療センターに患者が集中してしまうのではないのか。
	回答病院	今回の再構築は地域の医療機関の連携の下で、一つの病院で全てが間に合う病院完結型の医療体制ではなく、地域の医療機関と協力して診療を行う地域完結型の医療体制を目指すものです。病院と診療所、病院同士の連携によりネットワークを構築することにより、東信地域全体を安心できる地域にしていくことを目指しています。診療内容等によっては、必ずしも大きな病院の方が良い医療を提供できるという医療の実情をしっかりとお伝えし、より良い医療機関の利用の仕方を、住民の皆様とともに考えていきたいと思っております。

8	質問	再構築の必要性は理解できるが、再構築するのなら、基幹医療センターを臼田に残して、中込原に地域医療センターを建設できないのか。
	回答 病院	基幹医療センターは東信全域の広域的な医療の充実に資するものと考えています。場所については、広域の患者さんや医療機関からの紹介や逆紹介に対し、交通の利便性が良いことが必要です。様々な要件の中で模索した場所ですので、三者合意に基づき中込原での建設をご理解いただきたいと思っております。
9	質問	これまでの佐久総合病院は昭和19年の開設以来、臼田地区住民との関わりは深く、佐久病院はわが町の病院だということが抜けないでいる。現在の医師不足からしても基幹医療センターは臼田周辺がよいのではないか。なぜ、基幹医療センターの建設場所はツガミ跡地でなければならなかったのか。
	回答 病院	佐久病院が臼田地域の皆様に育てていただいたことには心より感謝申し上げます。地元の皆様とは今後も、共存・共栄の気持ちは変わりません。過日、佐久市との覚書の締結を致しまして、県知事に報告したところであります。臼田の地域医療センターは、佐久病院としての名称を掲げ、今以上に地域に根ざした医療を目指します。一般医療、リハビリ、1次～2次救急及び生活習慣病を対象とした診療を行います。また健康管理センター、健康増進センターを中心に保健予防活動に取り組み、福祉のまちづくりにも協力していきたいと考えております。
10	質問	現在の佐久総合病院には本院という言葉が使われているが、医師数やベット数から見ると基幹医療センターの方が本院になってしまうのではないか。
	回答 病院	ベット数の大小で本院を決めるものではありません。臼田の地域医療センターの機能は一般病院としての機能に加えて、保健・医療・福祉を包括的に担い、また付属施設(老人保健施設、農村保健研修センター、美里分院、看護専門学校)を統括する本院としての役割があり、そのような位置づけをしております。
11	質問	現在の病院は老朽化しており、耐震上問題はないか。仮に問題があるなら再構築計画とは別に対処すべきではないか。
	回答 病院	全国の病院が耐震構造については課題を抱えています。佐久総合病院も7階東西、北病棟、精神科病棟は、新耐震基準の昭和56年以前の建物です。以前行った建物診断では、建物の鉄筋構造部分については、当面は大丈夫ということですが、いずれにしても再構築を早急に進める必要があります。
12	質問	現在の佐久総合病院にかかっている外来患者のどのくらいの方が、基幹医療センターでの診療となるのか。
	回答 病院	現在の外来患者数の約3分の1程度を見込んでおります。現在の1日平均患者数が約1,800名ですので600～700名程度を見込んでおります。
13	質問	地域医療センターは、診療科目、医師数、職員数とすればどのくらいとなるのか。少ない医師で、各科の診療はきちんとできるのか。
	回答 病院	診療科目、医師数については別添資料にお示ししております。その中でも地域医療センターの医師数は60名を想定させていただいておりますが、同規模他病院の事例等を勘案しても運営可能と考えております。職員数については、現在、基本計画を作成中で詳細を検討している途中でございますが、概ね、病床数に応じた職員配置が必要になるかと考えております。
14	質問	地域医療センターの地域とは、どこを指すのか。
	回答 病院	東信地域全体の3次医療、専門医療を担っていくのが基幹医療センターの役割と考えています。一方、地域医療センターという名前なのですが、この地域というのは〇〇地域という特定の場所を指すものではありません。「地域医療」を行うセンターという意味での名前です。現実的には、この地域医療センターの患者様は南佐久及び臼田地区周辺の方が中心になることを想定しております。
15	質問	基幹医療センターの早期着工のために必要な事として、埋蔵文化財調査について関係機関と協議しなければならないと思うが、協議されているか。また、土壌汚染調査の実施やそれに伴う必要な対策工事等は行われているか。
	回答 病院	ツガミ跡地に建設候補地として合意されたのが2月7日です。今後は市の協力を得る中で、用途変更への手続きが可能になっていきます。一連の工程の中で、行政のご協力を得て埋蔵文化財の調査も行われていく予定です。また、土壌汚染については売主側の責任の中で、指定の土壌汚染調査業者による調査・対策等が実施され、問題無いことを確認しております。

	質問	佐久総合病院は、お医者さんを育てる病院、育てながら医療を担う病院だという特徴があった。そのためにこの医療崩壊の医師不足の中でもやっていかれるという話を何べんも聞き、これを維持するのは大変な事だと痛感している。今後もこれを維持していくための環境整備と、情報発信についてどのように考えているか。
16	回答 病院	特に医師は学ぶべき時期にたくさん学んでステップアップしなくてはならない。そういう技術者集団です。やはり、再構築を1日も早く実現させ、専門医療の部分をより高度化させて若い医師たちが惹かれる、魅力ある病院にしたいと考えております。また、一方で医師が力をいただいているのは患者さんです。地域の住民の方との交流会、健康祭りへの参加というような中から、若い医師たちが魅力を感じる部分があります。医師を育てるのは病院だけということではなくて、地域の住民の皆様のお力をお貸しいただいて、医師を育てていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。
	質問	市として、研修医を含めて多くの医師が集まり、そして、優れた医師が末永く佐久市に滞在してもらえるような環境整備をどう考えているか。
17	回答 市	現在、まちづくりにおいて、医療の充実は欠かせない大きな柱です。その要因となる医師が末永く住むまちのためには、市といたしましては、都市基盤整備に加え、教育・子育て・環境保全等、快適で生きがいのあるまちづくりが必要と考えておりますが、市民の皆様にも「コンビニ受診」の解消等、医師の職場環境改善へのご理解・ご協力をお願いいたします。
	質問	臼田地域は総合計画でも南部の医療ゾーンに位置付けられている。佐久総合病院が分割されることとなっても、市と佐久総合病院は協力して、臼田地域を医療・福祉のまちとして、臼田地域が寂れることがないように、まちづくりを行なって欲しい。
18	回答 市	今後、病院の再構築により地域医療センターが完成することを新たな臼田地区のまちづくりの契機として、住民の皆様とまちづくりを話し合う場「臼田まちづくり協議会(仮称)」を設立し、様々な皆様と協働して臼田地区の「まちづくり」に取り組むことを計画しています。
	質問	佐久総合病院の再構築は、上小地区等の患者の増加も要因との説明であるため、周辺道路の整備も含めて、佐久市だけでなく、広域的な支援体制を求めるべきではないのか。
19	回答 市	市で整備を計画している周辺道路は、いずれも市道ですので、その整備は市で行わざるを得ないものと考えております。しかしながら、基幹医療センター建設に対する財政支援については、県知事も補助を明言しておりますし、東信地域における3次救急を担う病院として国にも働きかけていきますので、市が全てを負担するものではないことを理解いただきたいと思います。
	質問	基幹医療センターが中込原に建設されれば、浅間総合病院の患者も基幹医療センターへ行くことが予想され、浅間総合病院の経営的な問題も出ると思うが、市としてどう判断しているか。
20	回答 市	現在、市では、県、佐久医師会、佐久総合病院、浅間総合病院、学識経験者などの参加をいただき、地域の医療連携を話し合う場を持つよう調整を進めています。このような場で協議を重ね医療連携を図ることにより、浅間総合病院、佐久総合病院の地域におけるそれぞれの役割を明確にし、相互に共存共栄できる医療体制の整備を進めてまいりたいと考えています。
	質問	基幹医療センターの建設予定地である中込原地区の住民、工場については同意・納得しているのか。工場の振動・騒音等の問題はどうか解決するのか。
21	回答 市 病院	今年2月15日に「中央区3区合同説明会」(主催:中央区3区長)が約160名の参加のもと開催され(内容は2月16日信濃毎日新聞朝刊等に掲載されております。)、基幹医療センター構想の説明や、騒音・交通渋滞等の質問にお答えしました。今後については三者合意に基づき、まず臼田地区の説明会の整理を行い、佐久市や県のご指導のもと、中込原地区、工場団地の皆様への説明会を行い、ご理解を得ていきたいと考えております。(病院) 市としても、病院側の説明資料が整い次第、住民の皆様、工業者の皆様等への説明会を開催し、ご意見ご要望をお聞きする中で、皆様のご理解が得られるよう協力していきたいと考えております。(市)

22	質問	臼田地区住民説明会について、この結果はどのように取りまとめるのか。また、臼田住民が納得したかどうかをどのように判断して、次へ進むのか。
	回答 市 病院	説明会を通して、佐久総合病院が住民の皆様を支えられ、愛されてきたことを改めて感じたところで、再構築計画は、地域医療においてなすべく責任を果たすために必要でありますので、県・市の指導のもと進めることでご理解をいただきたいと考えております。(病院) 臼田地区4回の説明会を通して、今の医療を取り巻く環境や病院施設の老朽化等により、再構築の必要性は皆さんから一定の理解をいただいたと考えています。今後も、住民の皆さんの声を大切にするために、「臼田まちづくり協議会(仮称)」を通じて、多くの皆さんにご理解とご協力をいただけるように取組みたいと考えています。(市)
23	質問	今、全国的な医療危機が叫ばれているので、この再構築問題を機に、行政や病院だけの問題としてではなく、地域住民としても語り合える機会をこれからも続けて欲しい。
	回答 市 病院	ごもっともなご意見と思います。市にご相談をさせていただく中で、検討してまいりたいと思います。(病院) 「臼田まちづくり協議会(仮称)」のような住民参加型の話し合いの場をつくり、佐久総合病院にも参加していただき、また、多くの皆様に参加を呼び掛けていくことを考えています。(市)
24	質問	基幹医療センターと地域医療センターの建設はできるだけ早くスタートして、その恩恵を市民が早く受けられるようにしていくのが非常に大事だと思うので、市と病院(厚生連)が協力して、しっかりした計画を作って着手することが、不安解消の基礎となると思うがどうか。
	回答 市 病院	医療崩壊(特に医師不足からくる)が進む中、東信地域全体の専門医療や救急医療の必要な患者様を受入れるのが基幹医療センターであり、その想定で規模も検討されました。また老朽化した本院の再構築や新たな基幹医療センターの早期再構築は、現在の佐久病院の課題である河川敷駐車場の解決や、医師確保にもつながっていくものと確信しております。市と協力する中で期待に応えられる病院づくりを進めたいと考えております。(病院) 市としても、再構築は早期に進めることが市民益の向上になると考えております。市と厚生連で取り交わした「覚書」においても、相互の役割と責務を明確にし、市と厚生連・病院が協力する中で早期に住民の皆様のご理解を得ることを目的に掲げ、早期にそして着実に再構築が行えるよう支援していきたいと考えております。(市)
25	質問	優れた医師が末永く佐久市に住み、2つのセンターを有効に使い専門医療だけでなく地域医療も携わってもらえる医師となるよう行政も含めバックアップしてもらいたい。
	回答 市 病院	ごもっともなご意見と思います。2つのセンターが地域医療の核となり、医師たちにとって魅力あるものとしていきたいと思っております。(病院) 市では、県、佐久医師会、佐久総合病院、浅間総合病院、学識経験者などの参加をいただき、地域の医療連携を話し合う場を持てるよう調整を進めています。これにより、住民の皆さんが安心して受けられる医療体制を構築するとともに、医師の負担を軽減し、医師にとっても魅力ある医療環境を作りたいと考えています。(市)
26	質問	ツガミ跡地は広大な敷地だから、いずれは全部そちらへ移転してしまうのではないか。地域医療センターが説明通り6~7年後にできることを担保して欲しい。
	回答 市 病院	本年9月15日には佐久市と厚生連で再構築についての「覚書」を締結いたしました。この「覚書」では、両センターが開設することで再構築が完了することを明記しており、基幹医療センターにあつては平成25年度内、地域医療センターにあつては平成28年度内を目標の開設時期としております。(病院) なお、この「覚書」の内容は、佐久市のホームページに掲載されておりますので、どなたでもご覧いただくことができます。(市)

※質問欄は、臼田地区4説明会において出された質問・要望等を集約のうえ記載しています。

※回答欄の病院とは、厚生連と佐久病院の双方を指します。

意見として

27	佐久総合病院の再構築問題が、膠着状態を脱して、市・県も協力して進み始めたことは心強い。
----	---

## 地域医療センター

(佐久総合病院本院)

### 1. 基本的な方向性

地域に密着した市民の病院として、医療  
保健・福祉サービスを包括的に提供する

■救急を含む一般診療の提供

(1) 各科・一般外来

(2) リハビリ医療の充実

■健康増進センターの整備

■在宅医療の充実・介護施設との連携

■「医・職・食・住・友・遊」の創出

■南佐久医療機関との連携

### 2. 病床数

一般病床 回復期リハ病床 精神病床  
緩和ケア病床 計300床

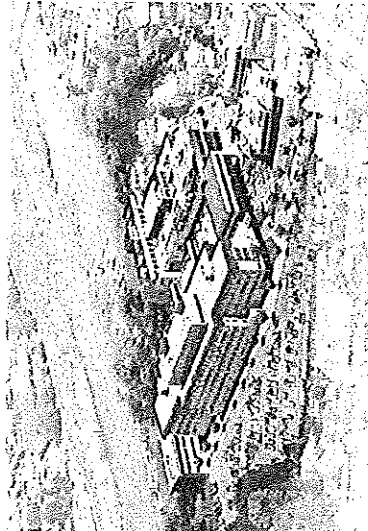
### 3. 各種機能

地域一般病院として市民病院的な診療機能  
の整備、在宅ケア・健康管理センター、  
地域医療の研究施設整備

### 4. 医師数

約60名

【地域医療センターイメージ】



## 基幹医療センター

(高度医療センター)

### 1. 基本的な方向性

高度医療を集約し、広域によりよい  
医療を提供する

■高度医療センターの創設

(1) 各疾病に対するセンター機能  
(がん、脳卒中、急性心筋梗塞 他)

(2) 救命救急センターの充実

(3) 小児・周産期医療センターの充実

■高機能診断センター (共同利用の充実) の整備

■高度医療の研究・教育施設

■広域災害医療センター

■広域医療機関との連携

### 2. 病床数

一般病床 救命救急センター ICU  
緩和ケア病床 人間ドック 計450床

### 3. 各種センター機能

救命救急センター、がん診療センター  
小児・周産期センター、循環器病センター  
消化器病センター、脳卒中センター  
呼吸器病センター、高機能診断センター  
災害拠点病院、高度医療研修施設

## H21.7住民説明会時資料

### 4. 医師数

約120名



# 長野県厚生連 佐久総合病院再構築計画(案)

## 地域医療センター

(佐久総合病院本院)

### 1. 基本的な方向性

地域に密着した市民の病院として、医療・保健・福祉サービスを包括的に提供する

■救急を含む一般診療の提供

- (1) 各科・一般外来
- (2) リハビリ医療の充実

■健康増進センターの整備

■在宅医療の充実・介護施設との連携

■「医・職・食・住・友・遊」の創出

■南佐久医療機関との連携

### 2. 病床数

一般病床 回復期リハ病床 精神病床  
緩和ケア病床 人間ドック

3. 各種機能 計300床

地域一般病院として市民病院的な診療機能の整備、在宅ケア・健康管理センター、地域医療の研修施設整備、

### 4. 医師数

約60名

## 基幹医療センター

(高度医療センター)

### 1. 基本的な方向性

高度医療を集約し、広域によりよい医療を提供する

■高度医療センターの創設

- (1) 各疾病に対するセンター機能  
(がん、脳卒中、急性心筋梗塞 他)
- (2) 救命救急センターの充実
- (3) 周産期母子医療センター、小児科の充実
- (4) 主要な手術の集約化

■高機能診断センター（共同利用の充実）の整備

■高度医療の研修・教育施設

■広域災害医療センター

■広域医療機関との連携

### 2. 病床数

一般病床 救命救急センター ICU  
緩和ケア病床 計450床

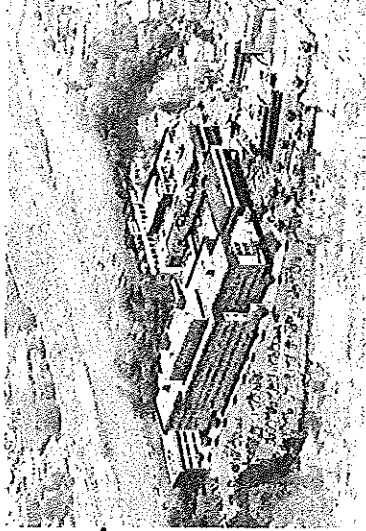
### 3. 各種センター機能

救命救急センター、がん診療センター  
周産期母子医療センター、循環器病センター  
脳卒中センター、高機能診断センター  
災害拠点病院、高度医療研修施設

### 4. 医師数

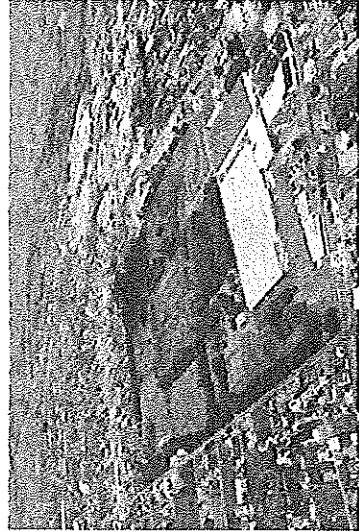
約120名

【佐久総合病院本院イメージ】



【基幹医療センター建設予定地】

<航空写真>



H21.11住民説明会時資料